

(様式第1号)

第11期 第9回 芦屋市環境づくり推進会議 会議録

日 時	令和2年12月23日(水) 10:00~12:00
場 所	芦屋市役所北館4階教育委員会室
出席者	会 長 長井 彦一郎 副会長 池内 清 委 員 大脇 巧己 委 員 新島 進 委 員 半田 孝 委 員 松原 洋子 委 員 森田 昭弘 委 員 井岡 祥一 欠席委員 上田 順子 欠席委員 浦川 朋子 欠席委員 田中 理生 欠席委員 船山 静夏 事務局 米村 昌純 事務局 岡本 祐子 事務局 芝本 裕真
事務局	環境課
会議の公開	■ 公開
傍聴者数	0 名

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

ア 作文コンクール展示について

イ 作文コンクール「努力賞」について

ウ ホームページのレイアウトについて

(3) その他

次回(第10回)日程 令和3年1月18日(月) 14時~16時

(4) 閉会

2 提出資料

会議次第

【資料1】令和2年度子ども環境作文コンクール展示について

【資料2】ホームページレイアウト(案)

【資料3】「芦屋でみることのできるおすすめ自然」資料, 一覧表

3 会議経過

事務局 本日は, お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので, ただいまから第9回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。

それでは長井会長，会議の進行をお願い致します。

会 長 はい，それではまず，議事に入ります前に，事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

事務局 委員12名中，本日8名がご出席でございます。半数以上の出席をいただいておりますので，本会議は成立しております。

会 長 ありがとうございます。本日傍聴の方はいらっしゃいますか？

事務局 傍聴の方はいらっしゃいません。

会 長 それでは，議事に入ります。次第に沿って，事務局から説明願います。

事務局 はい。（資料の確認）

前回お話ししました事項の報告も踏まえて説明させていただきます。1つ目に，作文コンクールについてです。資料①をご覧ください。今年度の環境作文コンクールは，令和2年12月1日から12月14日まで北館1階 行政情報サービスコーナー前にて資料①のとおり展示しました。

会 長 ありがとうございます。何かご不明な点がある方はいらっしゃいますか。

副会長 元々，名前は入っていなかったですか。

事務局 はい。学年や学校名も入れてないですね。

副会長 年齢によって作文内容も変わってきますから，やはり学年はあった方がいいと思いますね。

事務局 分かりました。

森田委員 ポスター展では，学年も学校名も入っていますよね。

事務局 そうですね。ポスター展と同じように，作文でも学年や学校名を下に貼ればいいのかもできませんね。

会 長 見に来られている方はいらっしゃいましたか。

事務局 そうですね。通路に展示していたこともあり，様々な方が立ち止まって見られていました。また，エントランスに近いこともあり，ポスター展も見られていた方は多かったです。

すね。

会 長 作文を大きくしているの、読みやすくてよかったです。他にご意見ある方はいらっしゃいますか。

副 会 長 前回もありましたが、作文をパソコンで打ち直すよりも子供達の書いた字が良いですね。

森田委員 そうですね。前回も申し上げましたが、作文を募集する前に、あらかじめ掲載する旨を案内すれば良いと思います。

副 会 長 やはり、子供達が書く文字や言葉の味が出るように考えていけば良いですね。

会 長 原稿用紙をそのまま拡大コピーできれば良いですね。

副 会 長 掲載する旨をあらかじめ案内すれば、子供達は最初からしっかり書くかもしれませんね。

事 務 局 そうですね。誤字脱字もありますので、もし、そのまま掲載するのであれば展示の前に一度、ご本人様に確認していただく時間が必要ですね。たとえば、作文の採点を早めにおこなっていただき、入賞作品が決まった際に、ご本人様に誤字脱字を確認していただく旨を連絡すればいいと思います。

森田委員 そこまでする必要はないと思います。先ほども申し上げたように、募集する段階で入賞作品についてはそのまま展示する旨を記載すれば良いと思います。

副 会 長 間違いは誰にでもありますから。

森田委員 我々はそういった部分も含めて採点していますし、子供達の書いた字もまた魅力だと思います。

事 務 局 そうですね。今後、検討する必要がありますね。

井岡委員 パソコンで打ち直した際に誤字脱字を修正した作文と、子供達が書いた作文との整合性は考えるべきだと思います。

森田委員 パソコンで修正した時点で、本人の作文ではなくなりますよね。一般の作家でも、書いた文章がそのまま掲載されますし、間違いがあってもそのまま良いと思います。

副 会 長 小学校の文集については、書いた文章をそのまま載せないですね。

井岡委員 そうですね。子供達と話し合いながら書き直し、最終的には清書しますね。

森田委員　しかし、それは学校教育の一環なので、清書という手順を踏みますが、今回の環境作文は違いますよね。ポスターに関しても同じだと思います。我々や市民もそこまでの質を求めているわけではないです。やはり、目的によって扱い方も違うと思います。

会　長　今後の課題ですね。それでは、次の議題について、事務局より説明をお願い致します。

事務局　次に努力賞についてです。昨年度は半田先生より水晶をご提供いただきました。今年度は、予算の残りで水晶の購入を検討しております。

会　長　ありがとうございます。努力賞について、ご意見等のある方はいらっしゃいますか。

森田委員　環境面で考えるとプラスチック製の袋は大丈夫でしょうか。先日、ユニクロのヒートテックを購入した際もプラスチック包装がなくなっていました。最近、民間企業が脱プラスチックを掲げる中、環境問題への意識が高い方からするとプラスチック包装には否定的だと思います。しかし、袋の中の水晶は見えるほうがいいですね。

事務局　ゴミ袋に関しては、バイオプラスチック製があるかもしれませんが、今回の水晶の袋に関しては分かりません。ただ、昨年、購入した分が多く残っています。あとは、箱という選択肢もありましたがプラスチック袋のほうがと安価ですし、見栄えもいいですね。箱だと組立てが難しいです。

森田委員　水晶は見えたほうがいいですし、今回はプラスチック袋でいいと思います。

事務局　そうですね。昨年の分が残っていますので。

森田委員　使わないともったいないですね。

副会長　水晶にひもを通してアクセサリーにしたり、または、首にかけるネックレスにするのも良いと思います。しかし、今回は袋でいいですね。

大脇委員　プラスチック袋が絶対だめというわけではなく、本来は勝手にプラスチックゴミを捨てないという意識付けが大切だと思います。そういったことを伝えていければと思います。

会　長　この袋をまた何かに使っていただければいいですね。

事務局　このプラスチック袋があれば水晶の産地や説明が見えるため、このまま部屋に置いて飾ることができて可愛いと思います。

副会長　私は、水晶を飾る際は土台に置いています。そうすると、水晶が生えているように見えてきれいに映えます。

事務局 良いと思います。しかし、水晶を土台で飾るとなれば箱か何か必要になりますね。

副会長 あくまでも将来の話ですから。

会長 お花もそうですが、ラッピングすると受け取る側はうれしいですね。

事務局 そうですね。

大脇委員 これくらいの大きさであれば、我々もご協力できます。

事務局 ありがとうございます。

副会長 プラスチックでも分解できるものがあればいいですね。

事務局 来年度はラッピングに工夫が必要ということですね。

次にホームページのレイアウトについてです。資料③をごらんください。「芦屋森の会 2001」さんからいただいた写真と資料について、池内副会長はご説明をお願い致します。

副会長 分かりました。まずは、「芦屋森の会 2001」から資料や写真の提供としまして、1月から2月にかけて見ることができる自然に絞って紹介します。冬場の観察では、主に幼根や冬芽など植物が春に向けて準備をしているものが見られます。植物によって様々な特徴があり、普段は見なくても改めて観察すると非常におもしろいです。こういったものを紹介できればと思い、紹介しています。

No 1は「カラスザンショウの葉痕」です。前年の葉がついていた跡を葉痕と言います。よく見ると人や動物の顔を連想させるなど味のある形をしています。

No 2は「ヤブコウジの果実」です。日差しの弱い林内に生えている低木です。冬枯れの林に赤い実が鮮やかです。

No 3は「コウヤボウキの果実」です。日当たりの良い山道でよく見かける低木です。花自体は11月から12月に咲き、終わった後の綿毛もきれいです。

No 4は「ネジキの冬芽」です。木々は様々な方法で寒さをしのぎながら、春の芽吹き準備を進めています。芽をよく見ると、それぞれに個性的な形をしています。冬芽が美しいことから三大美芽と呼ばれており、ネジキはその中のひとつです。新芽のときから赤く、つやがあります。

No 5は「コアジサイの冬芽」です。写真5のとおり、冬芽が兜の角のように出ていることから、私は「バイキング」と呼んでいます。

No 6は「ドングリの発芽」です。厚い落ち葉の下でドングリが根を伸ばし始めています。春になれば落ち葉を分けて茎が伸び、葉が開きます。冬の間はただ落ちているのではなく、しっかり根が出ていることから、冬の観察に適していると思います。

No 7は「ケヤマハンノキの花穂」です。丸い部分が今年の果実、細長い部分が春を待っている花穂です。六甲山でよく見られます。

No 8は「アセビの花」です。早いものでは12月から1月に咲くため、冬に見られる花です。

No 9は「クロモジの蕾」です。非常に香りがよく、和菓子の爪楊枝に使われています。中心に葉芽があり、周りに花が複数付いています。

No 10は「明るい森」です。冬の晴れた日、落葉樹が葉を落とした森は日差しが暖かです。

No 11は「落ち葉の森」とNo 12は「落ち葉の小道」です。落ち葉が散り敷いた森では、厚い絨毯の上を歩くような心地よい山歩きを楽しめます。

No 13は「雪遊び」とNo 14は「雪の谷川」です。町の中ではうっすらと積もっただけの雪も、森では靴が埋まるほど積もることがあります。森がふだんとは違った姿を見せてくれます。

No 15は「環境フェスティバル」です。ドングリや木の枝で工作しました。

説明としては以上になります。これらをホームページでどのように紹介していくか、皆様と決めていただければと思います。多くの写真を載せるのではなく、数枚の写真を何回かに分けて載せれば良いと思います。

つづいては、「東お多福山について」です。六甲山は3つの断層によってできており、いちばん高く隆起した部分が今の山頂です。次が奥池から東お多福山にかけて、最後が手前の山です。六甲山は花崗岩からできています。花崗岩は山の奥深くにあるマグマが冷えて固まったもので、隆起とともに花崗岩である六甲山が地上に現れました。当時、花崗岩より上を覆っていた土も同時に隆起し、現在のお多福山に残っています。つまり、東お多福山は他の周りの山と土の質が違います。六甲山は花崗岩が多いのでマツしか生えることができませんが、東お多福山は土なのでススキといった草原が広がっています。茅場の権利は地域ごとに順番に与えられています。草刈りをするので、木が生えずに草原が維持されています。

つづいて、写真の説明です。「クロモジ」は小さい花が集まったものです。「オオカメノキ」は両側が葉で真ん中に花が付いています。「アセビ」は白色やピンク色など様々な色の花が咲きます。「ヒサカキ」の実が雪の上にと落ちるときれいな紫色に染まります。「イヌブナ」は大きくぶら下がっているものが冬芽です。「マンサク」は“まず咲く”が由来です。

以前は飼料や燃料としてネザサを刈っていましたが、現在は里山を管理するためにおこなっています。半田先生が活動されている仲の池や芦屋浜の海岸、公園などに生えている植物の情報や資料を集め、その中から季節ごとにホームページで紹介できたらと思います。

事務局 ありがとうございます。先ほど、池内委員や「芦屋森の会 2001」さんからいただいた資料をもとに、ホームページを作りたいと思います。なお、「さんぴーす」さんからご提供いただいた資料は夏の内容についてでしたので、今回はご紹介しておりません。

ホームページのレイアウトの例が資料②のとおりです。

(資料②の確認)

池内委員がおっしゃっていたように、すべての資料を載せるとホームページの容量がいっぱいになりますので、みなさまに3点ほど選んで決めていただければと思います。その

後、「芦屋森の会 2001」様からの説明文と芦屋の環境団体様からの情報を載せようと考えています。なお、「芦屋森の会 2001」,「芦屋自然の会」については連絡先を非公表にしたいということですが、残りの団体については各団体のホームページリンクも併せて載せる予定です。次に「環境づくり推進会議からのイチオシポイント」については、上記の3点の資料以外の中から決めて載せる方法か、もしくは、半田委員から鳥の写真と説明を載せる方法か、あるいは大脇委員からの資料もあれば載せようと考えています。「環境団体からのお知らせ(芦屋の自然に関するイベント)」については、環境フェスタの案内を載せようと考えています。さらに、「東お多福山でネザサ刈りの案内」をPDFでそのまま貼り付ける形で載せようと考えています。しかし、「芦屋森の会 2001」さんについては非公表にされているため、「東お多福山草原保全・再生研究会」の連絡先を載せていますが、よろしいでしょうか。

副会長 連絡先をどこにするか、一度、相談します。

事務局 そうですね、お願い致します。ただ、先ほども説明しましたが、PDFでそのまま貼り付ける予定ですし、案内の中にメールアドレスやQRコードが記載されていますので、携帯を持たれている方は大丈夫だと思います。もし、電話でお問い合わせがあった場合は、集合場所と時間はこちらでお伝えできますが、やはり、直接確認していただきたいので、連絡先があれば良いと思っています。

副会長 メールであれば簡単にできますが、電話に出られないときが多いですし、難しいですね。

事務局 分かりました。そうしましたら、お問い合わせはメールのみということにしましょうか。ですが、「芦屋森の会 2001」さんはメールアドレスも公表していませんが、大丈夫でしょうか。

副会長 案内のチラシをそのままPDFで載せていただければということですので、チラシを見ていただければと思います。FAX番号もありますし。

事務局 チラシに「参加人数は各正会員(団体)、各協力団体でまとめ、事務局までお知らせください」とありますが。

副会長 各協力団体は様々な会で成り立っており、最近では「観察部会」が新しくできました。新規で入会されたメンバーは「観察部会」に案内する等、来られた方はこちらで対応させていただきます。

事務局 そういったことも含めて、詳細についてのお問い合わせがあると思います。

副会長 そうですね。メールアドレスもありますし、個人参加についてはホームページで申し込みする説明がチラシにありますので。

事務局 また何かありましたら、おっしゃってください。

副会長 ありがとうございます。

事務局 では、資料②に戻りまして、「1月・2月にみることができる芦屋の自然おすすめ情報」に使用する写真を選んでいただきたいと思います。

会長 写真は何枚まで入りますか。

事務局 3枚までだと思います。画質を落としてサイズを小さくすれば入ると思います。

副会長 あまりにも小さいと見にくくなりますね。

事務局 そうですね。1月の写真が7枚、2月の写真が1枚、資料としてご提供いただいています。N o 1「カラスザンショウ」は3月となっていますが、1月・2月でも見ることはできますか。また、見ることができる場所も載せていただければと思います。

副会長 場所については説明が難しいですね。

事務局 そうですね。ただ、団体名は載せる予定です。

大脇委員 その場所で見るというよりも、子供達に見つけさせるほうが良いと思います。

井岡委員 私もその視点で考えています。たとえばN o 6「ドングリの発芽」は良いと思います。ドングリは身近にたくさんありますが、子供達はドングリの発芽を見ようとしません。なので、この写真をきっかけに他の植物にも関心を広げることができますので、N o 6「ドングリの発芽」は良いと思います。

大脇委員 やはり、場所というよりも近所の公園でも見つかるという紹介が良いと思います。詳しく知りたい方は、団体に問い合わせる方法が良いと思います。
今回は、ホームページですが、たとえばTwitterで連動させて、子供達が何か見つけたらハッシュタグをつけて投稿できればおもしろいと思います。

事務局 Twitterは使用できません。

大脇委員 市はInstagramを使用していますね。

事務局 Facebookは団体では登録できず、個人で管理する必要があります。Twitterはできますがセキュリティに問題があり、良いコメントも悪いコメントも投稿されるため、今回はホームページに決めたという経緯があります。ちなみに、「さんぴーす」さんはTwitter等

をされていますか。

大脇委員 はい、アカウントを持っています。今回は個人が見つけた内容をハッシュタグ付けで投稿するだけですので、管理という話ではありません。投稿することで、子供達にとって見つけたという証になります。一方、こちら側はハッシュタグで検索し、どれほど見つけたか確認できるということです。

事務局 もし、Twitterをお持ちであれば、リンク先を貼ってご紹介することは可能です。

大脇委員 いえ、そういうことではありません。投稿することで子ども達が足跡を残すことができ、楽しんでくれると思っただけです。

事務局 分かりました。No6「ドングリの発芽」は良いと思います。公園など身近な場所にありますし、載せて良いと思います。

大脇委員 No2「ヤブコウジの果実」もきれいな赤い実として良いと思います。赤い実だけでなく様々な色をした実もたくさんありますので、見つけることができれば良いと思います。

事務局 そうですね。実はたくさんありますね。身近なものでは「シャリンバイ」が黒い実をつけていますね。

大脇委員 今回の意味合いとして「ヒトの顔をした植物を見つけよう」「様々な色の実を見つけよう」「発芽しているものを見つけよう」という内容で、ホームページを通じて見つけていただくが良いと思います。

事務局 良いと思います。そういった内容でよろしいでしょうか。No1, No2, No6の写真を「環境づくり推進会議からのイチオシポイント」で紹介し、残りの写真から「1月・2月にみることができる芦屋の自然おすすめ情報」で紹介してみても考えています。環境づくり推進会議としてはこういった部分に着目してほしいという紹介にできればと思います。何より、今回のホームページの目的のひとつは、各自のホームページをお持ちでない環境団体さんをご紹介することですので、あと1枚か2枚を選んで決めていただきたいと思います。No13, No14は雪に関する写真ですが、他にイベントをされていますか。

副会長 はい、「さんぴーす」と一緒におこないました。

大脇委員 最初は「アシレンジャー」としてイベントをおこなっていましたが、偶然、「芦屋森の会2001」とさんとお会いしました。

事務局 今年度の1月・2月で「アシレンジャー」さんはイベントのご予定ありますか。

大脇委員 毎年2月・3月の土曜日に、講師として呼び出してイベントを実施しています。ただ、今年度はコロナ禍でどこまでできるか相談中です。

副会長 寒い日は焼き芋などをおこなっています。

事務局 いいですね。知らない方も多いので、ぜひご紹介したいですね。ホームページはいつでも更新できますので、イベントについて何か決まりましたら教えていただければと思います。

井岡委員 子供達は落ち葉を拾うことが好きですね。そして、拾った落ち葉がどの木から落ちたか、子供達はよく観察します。すると、子ども達はNo10, No11, No12にある森の落ち葉に興味を持つと思いますし、No13「雪の森」と結びつくと、森に行くことへの興味をさらに持つかもしれません。

事務局 そうですね。でしたら、No10, No12, No13の写真とコメントと場所を載せてはどうでしょうか。

副会長 身近な公園にも様々な種類のドングリがありますし、子供達に見てもらえればと思います。

事務局 もし、No6の写真の下にドングリの写真が載った一覧表のPDFを貼り付ければ、拾ったドングリを見比べることができますね。

井岡委員 あと、子供達はくっつき虫として有名な「オナモミ」が好きですね。今回は写真がありませんでしたが、今後、ご紹介できればおもしろいと思います。

副会長 そうですね。今の季節は枯れています。ですが、子供達は「くっつき虫」という言葉をよく知っていますね。

会長 くっつき方は粘着タイプやとげタイプなど様々な種類があり、種子をいかに遠くへ運ぶかという仕組みを考えるとおもしろいと思います。

事務局 生物多様性に繋がりますね。

会長 そうですね。さらに深堀りすることで、より興味を持つ子供達が増えればと思います。

副会長 まさに「環境づくり推進会議からのイチオシポイント」で季節毎に紹介できると思います。

事務局 そうですね。

副会長 芦屋市には、赤い実を付ける「コブシ」という木があります。実は糸を引きますので、鳥が食べて糞をすると糸が出て、種をぶら下げながらどこかにくっつきます。

井岡委員 「コブシ」は中央公園にありますね。

副会長 自然に行くと様々なものに出会うので、そのきっかけを作ればと思います。

事務局 そうですね。これまであった話をもとにしてホームページを作り、掲載したいと思います。まずは、イベントが決まりましたら教えていただければと思います。

会長 ホームページにアクセスすると、「ホーム」「暮らし」「環境」「環境啓発・環境保全のとりくみ」の後に「芦屋でみることのできるおすすめの実験」が出てきますが、ここと推進会議が並ぶようにはできませんか。

事務局 これはこれでホームページを作りました。そして、推進会議の下というよりは「ホーム」「暮らし」「環境」「環境啓発・環境保全のとりくみ」の順に入れましたので、すぐにアクセスできると思います。ただ、このページに行き当たるのをどうすればいいのか考えました。また、いくつか写真をいただいたので、1枚もののA4に簡単なポスターやチラシを作り、この説明に関してはここというように、QRコードがあれば読み取ってホームページにアクセスできると思います。それを環境団体に配布し、環境団体が他の方へと配布したりリードあしやの入り口に置いてもいいかもしれませんね。

会長 私が思っていることは、たしかに環境団体のホームページが出てきますが、ホームページに推進会議と関わっているというアピールがほしいということです。

事務局 「芦屋市環境づくり推進会議」の下にぶら下げれば良かったですか。

会長 いいえ、そういうわけではありません。環境づくり推進会議と一緒にやっていますという印象が無いように思えます。たとえば、「芦屋でみることのできるおすすめの実験」で、下に「第11期芦屋市環境づくり推進会議のメンバーで、今芦屋でみることのできるおすすめの実験について、ご紹介します」で関わりがあることは分かりますが、一緒にやっている印象が少ない印象を受けます。

大脇委員 推進会議のホームページにもこのようなホームページを作りましたと載せて相互リンクをかけておくと良いと思います。たとえば、このページを見たときに「第11期芦屋市環境づくり推進会議」の部分にリンクをかければ両方のページに行き来することができ、会長がおっしゃっている関わりが持てるということになると思います。

事務局 もちろんリンク付けはする予定です。環境フェスタと同じですね。環境フェスタは、「イベント」の部分で載せますし、広報国際課がやっているイベント情報でない市民の方

は見ないので、そこには載せませんが、そこで環境づくり推進会議のところはこのイベントをやりました、と相互リンクはかけてあるので大丈夫です。

会 長 ありがとうございます。リンクをしていないとここだけを見ても推進会議とつながっているか分かりませんので。

森田委員 環境づくり推進会議とは、簡単に説明書きがあればいいかもしれませんね。「環境づくり推進会議からのイチオシポイント」とありますし、リンクだけでなく、簡単な一文があればいいと思います。

事務局 では、「第11期環境づくり推進会議のメンバーで、今芦屋で見ることができるおすすめの名所について、ご紹介します」の下に、環境づくり推進会議の説明を入れます。

会 長 他に何かご意見はございますか。

新島委員 ホームページの更新の頻度はいつぐらいを考えていますか。

事務局 今回は1月・2月分で考えていますので、次は3月・4月を考えています。

半田委員 「環境づくり推進会議からのイチオシポイント」の灰色の部分に写真を入れる予定ですか。

事務局 そうですね。もし鳥の写真があれば、いただければと思います。

森田委員 年内に掲載する予定ですか。

事務局 そうですね。No10とNo13はコメントをいただいていますし、撮影年月・団体名も載せる予定です。No1、No2、No6はコメントの挿入が必要ですので、後日、メールでコメントの依頼を致します。No1、No2、No6についてそれぞれコメントをくださる方がいらっしゃいましたら、今、決めたいと思います。

森田委員 今、更新すると一月や二月先のものを取り上げることになるので、アーカイブから持ってくるようなイメージですよね。やはり、イチオシポイントは時期を合わせる必要がありますか。

事務局 そうですね。できればリアルタイムで現在見ることができるイチオシを入れたいと思っています。

副会長 ニュース性があればいいですね。

事務局　そうですね。大枠はみなさんに確認して、進めていきたいと思っています。もちろん、トピックスなども入れて更新したいと考えています。とりあえず、今回は「ドングリ」と「顔」と「実」にすると決めました。ただ、容量の関係でどれか削る場合もあります。

森田委員　一月や二月、季節を先取りするということは、要するに過去のストックから写真を載せることになるので、今、掲載するとなればズレが生じる点が気になります。

事務局　そうですね。ですが、もう月末で来月に近いです。

森田委員　イチオシポイントはまさに今ということで、今後、追加もできますね。しかし、容量の都合上、あまり写真は載せることはできませんね。

事務局　そうですね。写真の容量をかなり小さくしないと貼れないですね。例えば、動画自身を貼ることは無理ですが、動画のURLを貼るだけなら可能です。

森田委員　このページだけの容量ということですか。

事務局　そうですね。写真を2枚貼るとダメになります。いただいた写真は画素数が大きいので、貼る際は画素数を小さくすれば貼ることができます。ちなみに、星空観察会でも2枚貼っていますので大丈夫だと思います。

森田委員　外へ出かけてもらう気になるようなホームページにしたいですね。

副会長　クリックして大きく見るものではないので、今回は小さい画素数で大丈夫ではないでしょうか。

事務局　そうですね。今回はご紹介ですね。
No 1、No 2、No 6、のコメントは一覧表の記事から抜粋してもいいかもしれません。

大脇委員　コメント自体はその方法でいいと思います。そして、大枠として、「身近な公園でも見つけられるから、ぜひ探してね」という文を少し入れたらいいと思います。

事務局　分かりました。

半田委員　漢字にふりがなを入れますか。

事務局　いいえ、入れないです。相当読みにくい漢字や特殊な漢字があれば入れます。基本的には大人の方が読む前提ですので。

森田委員　一応、市の広報の対象年齢は中学生ぐらいの漢字なので、小学生が見ると少し難しいか

もしませんか。

会 長 他に何かご意見ある方はいらっしゃいますか。

森田委員 環境フェスタは実施できるか分からないですね。告知も必要になりますし。

事務局 2月号の広報に案内できるよう、原稿は作りました。

森田委員 イベントについては、「今日の状況次第では中止になる場合もある」という旨は入ると思いますが、参加者を招待しますからね。

事務局 そういった事情もありまして、例年であれば環境フェスタ案内チラシを全校生徒に配布していましたが、今年に限っては先行きが不透明なので、チラシの配布はやめようと思っています。ただ、ホームページと広報誌には案内を載せる予定です。

会 長 作文コンクールやポスター展の受賞者であれば分かりますが、他の生徒さん達は分からないですね

事務局 今回、チラシは配布していませんが、ホームページや広報誌には案内を載せています。ただ、どこまで参加者を集めていいか分かりませんし、安全に適切に環境フェスタを運営できるかも分かりません。また、急遽、中止になる可能性もありますので、今回はホームページと広報のみで案内し、チラシを配布していません。

森田委員 参加者が集まらなくても今回ばかりは仕方ないですね。

事務局 次の推進会議までに、今以上に拡大していれば開催は難しいという判断になると思いますし、年末年始を乗り切って医療体制が落ち着いていれば開催できる判断になるかもしれませんね。

会 長 そうですね。ありがとうございます。ホームページについて、または全体を通して何かご意見等のある方はいらっしゃいますか。

事務局 次回の推進会議についてですが、1月中旬に開催し、環境フェスタの実施の有無を決めたいと考えております。

会 長 当初予定していた議事は全て終わりましたが、他に何かございますか。ないようでしたらこれで、第9回環境づくり推進会議を終了します。ありがとうございました。